

## さいたま市長メッセージ（令和2年4月24日）

皆さん、こんにちは、さいたま市長の清水勇人です。

市内の感染者数は、依然増加傾向にあり、4月22日時点で、112例となりました。緊急事態宣言の発出から、2週間が経過し、市民の皆様から、経済活動や医療体制について、多くの心配の声をいただいております、引き続き、危機感を持って対応してまいります。

まず、深刻化する市内経済への支援として発表した、市内の中小企業向けの、無利子・無担保・無保証料の臨時資金融資は、総額400億円まで増額しましたが、申込みが多く、すでに新規受付を終了しました。

さらなる支援の必要性を捉え、今後も経済対策を検討していきます。

次に、医療体制の強化として、PCR検査の拡充について、市内の医師会とおおむね合意し、新たなPCR検査センターを順次スタートしてまいります。

また、埼玉県は4月15日から、軽症者を、アパホテルさいたま新都心駅北にて、受け入れ始めました。さいたま市は、市内の医療機関の負担軽減に協力するため、施設運営員として職員を派遣しています。

皆様の中には、不安を感じている方もいらっしゃると思いますが、患者の方は、自由な出入りはできず、検査で陰性となるまでホテル内で生活していただきます。限りある病床を、医療が必要な方へ配分するためであることをご

理解<sup>りかい</sup>いただければと思<sup>おも</sup>います。

改<sup>あらた</sup>めまして、感<sup>かん</sup>染<sup>せん</sup>者<sup>しや</sup>数<sup>すう</sup>の増<sup>ぞう</sup>加<sup>か</sup>に伴<sup>ともな</sup>い大<sup>たい</sup>変<sup>へん</sup>なご負<sup>ふ</sup>担<sup>たん</sup>をお掛<sup>か</sup>けしている、医<sup>い</sup>療<sup>りょう</sup>  
関<sup>かん</sup>係<sup>けい</sup>者<sup>しや</sup>並<sup>なら</sup>びにそれ<sup>さ</sup>を支<sup>さ</sup>える皆<sup>みな</sup>様<sup>さま</sup>に深<sup>ふか</sup>く感<sup>かん</sup>謝<sup>しゃ</sup>を申<sup>もう</sup>し上<sup>あ</sup>げたいと思<sup>おも</sup>います。

市<sup>し</sup>民<sup>みん</sup>の皆<sup>みな</sup>様<sup>さま</sup>におい<sup>い</sup>ては、よ<sup>い</sup>り一<sup>いっ</sup>層<sup>そう</sup>感<sup>かん</sup>染<sup>せん</sup>防<sup>ぼう</sup>止<sup>し</sup>に努<sup>つと</sup>めていた<sup>い</sup>た<sup>だ</sup>き、ご自<sup>じ</sup>身<sup>しん</sup>の健<sup>けん</sup>康<sup>こう</sup>  
と<sup>と</sup>もに、地<sup>ち</sup>域<sup>いき</sup>の皆<sup>みな</sup>さん<sup>みな</sup>の大<sup>たい</sup>切<sup>せつ</sup>な命<sup>いのち</sup>を守<sup>まも</sup>っていきま<sup>い</sup>しょう。